

各種適性検査の特徴

1. GATB (厚生労働省編一般職業適性検査) 進路指導用

- (1) 概要 9つの「適性能」を測定：知的能力，言語能力，数理能力，書記的知覚，空間判断力，形態知覚，運動共応，指先の器用さ，手腕の器用さ。
- (2) 対象者 中学生～成人（45歳程度まで）。
- (3) 所要時間 紙筆検査 45～50分 器具検査 12～15分。
- (4) 特徴 制限時間内にできるだけ早く正確に回答する最大能力検査。個別でも集団でも実施可。適性のうち能力に関する特徴を正確に把握可能。

2. 職業レディネス・テスト

- (1) 概要 ホランド(Holland, J.L)理論に基づく6つの興味領域（現実的，研究的，芸術的，社会的，企業的，慣習的）に対する興味の程度と自信度がプロフィールで表示。基礎的志向性（対情報，対人，対物）も測定。
- (2) 対象者 中学生・高校生。場合によっては大学生でも可。
- (3) 所要時間 実施のみ（40～45分）。採点も含めると1時間。
- (4) 特徴 各回答者の自己ペースで実施させる紙筆検査。若年者に対し自己理解を深めさせ，職業選択に対する考え方を学習させる教材としても有効。

3. VPI 職業興味検査

- (1) 概要 アメリカで開発されたホランド(Holland, J.L)によるVPIの日本版。6つの興味領域（現実的，研究的，芸術的，社会的，企業的，慣習的）に対する興味の程度と5つの傾向尺度（自己統制，男性—女性，地位志向，稀有反応，黙従反応）がプロフィールで表示。
- (2) 対象者 短大生，大学生以上。
- (3) 所要時間 採点時間を含めて15～20分程度。
- (4) 特徴 160個の職業名に対する興味の有無を回答。実施・採点はカーボン形式で簡便。

4. Career In Sites (In Sites2000)

- (1) 概要 日本で最初のコンピュータによるキャリア・ガイダンス・システム。利用者自らがコンピュータを操作し，適性評価（能力，興味，価値観・行動特性），適職リストの作成，職業情報の検索，キャリアプランニングを実施する。
- (2) 対象者 短大生，大学生から40歳代前半程度まで。
- (3) 所要時間 すべての機能を利用すれば1時間半から2時間。ただし，必ずしもすべての機能を使う必要はない。
- (4) 特徴 将来の職業についてまだあまり考えていない若年求職者の援助がねらい。適性を正確に把握するよりも，コンピュータに気軽に使う中で職業選択に向けた考え方を理解させることが目的。